前期前半を振り返って

校長　大槻　晋

酷暑の中、皆様方におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

七月五日から豪雨災害に見舞われ、多くの方々が被害に遭われました。心から申し上げます。

お悔やみを申し上げますとともに、一日も早く被害に遭われた地域の復旧・復興を願っています。

この度、管理者として私自身、日々の危機管理の大切さを改めて認識させられました。

6月7日（木）から7月5日（金）の2日間、芦北青少年の家で、宿泊教室がありました。

芦北青少年の家は、武道場の雨天時の活動は、芦北町に近い屋外活動が可能なところです。

出発式は、行きの高速道路で行いました。

活動は、2日間とも無理なく楽しめていました。

活動中、芦北町の方々にお世話になりました。

あいさつ、礼儀、集団行動、年生活目標の達成に向けて、1年生は、大変よく頑張りました。

訓練は、2日間とも、火災発生を想定した避難訓練でした。

訓練の目的は、火災発生時の迅速な行動の仕方を学ぶことです。

訓練は、1回目は、集合に手間取りました。

2回目は、集合の時間が半分になりました。

集合の仕方、並び方、点呼の仕方、報告の仕方、動き方、静かにすることなど、1年生は、大変よく頑張りました。

夫婦で、家庭訪問をさせていただきました。

家庭訪問は、4月に入学式を迎えたばかりの家庭に、必要な連絡事項を伝えるとともに、家庭の様子を伺うものです。

校